

番号：150933

国名：バングラデシュ

担当：バングラデシュ事務所

案件名：チッタゴン上下水道公社組織改善・無収水削減推進プロジェクト中間レビュー調査（評価分析）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2015年12月下旬から2016年2月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.47M/M、合計 0.97M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	14日	5日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：11月11日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細については JICA ホームページ（ホーム>JICA について>調達情報>調達ガイドライン、様式>業務実施契約（単独型）（2014年4月以降契約）>業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出について）（[http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul\\_gt/20150618.html](http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_gt/20150618.html)）をご覧ください。なお、JICA 本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
    - ①業務実施の基本方針 8点
    - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
  - (2) 業務従事予定者の経験能力等：
    - ①類似業務の経験 45点
    - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
    - ③語学力 18点
    - ④その他学位、資格等 18点
- (計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	バングラデシュ／全途上国
語学の種類	英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：  
本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は

- 本件への参加を認めない。  
(2) 必要予防接種：なし

## 6. 業務の背景

バングラデシュ最大の商工業都市であるチッタゴン市（人口 290 万人、面積 155km<sup>2</sup>）では、水道をはじめとする基礎インフラの整備が都市の拡大に追いついていない。チッタゴン市の水道は、チッタゴン上下水道公社（Chittagong Water Supply and Sewerage Authority 以下、「CWASA」）により運営されているが、上水道設備の整備不足及び既存施設の老朽化から、十分な水道サービスを提供できておらず、需要の約 47%しか供給できていない（水需要 470 百万リットル/日（以下、「MLD」）に対し供給は 219MLD（2011 年））。これに対し、CWASA は円借款による「カルナフリ上水道整備事業（Karnaphuli Water Supply Project 以下、「KWSP-1」）」及び「カルナフリ上水道整備事業フェーズ 2（Karnaphuli Water Supply Project Phase-2 以下、「KWSP-2」）」にて給水容量の増加及び配水網の整備を進めている。2014 年に KWSP-1 にて建設された浄水場（供給量：148MLD）が給水を開始し、2021 年には KWSP-2 にて更なる浄水場（供給量：148MLD）に加え、チッタゴン市中心部のカルナフリ給水地域（Karnaphuli Service Area 以下、「KSA」）（人口 120 万人、面積 30km<sup>2</sup>）内の配水網も整備される予定である。当該事業完工後の 2025 年には、需要に対する供給が 63%に改善する。2009 年からはチッタゴン上下水道公社無収水削減推進プロジェクト（以下、PANI）が実施され、無収水対策計画の策定や、KWSP-2 の配水管網整備にてカバー地域に対する GIS 顧客データベースの作成等を支援し、経営的・財務的に独立した組織となるよう支援してきたが、設備を保守・運営するための人員不足、適切な水道料金を設定し徴収するための会計・財務能力不足、更には、CWASA を効果的、効率的に経営するための適切な組織体制の構築などの課題が残っている。更に、技術面でも、既存送配水管の老朽化、低品質の給水管材の使用や不適切な給水管接続工事を原因とする漏水、といった問題も指摘される。CWASA の無収水率は地区によっては 40%（2012 年）を越えるなど、自立的で持続的な水道事業運営には課題が多い。

係る状況を受けて、バングラデシュ政府は我が国に対し、CWASA の組織能力及び技術の向上、上記の政策・計画を通じてチッタゴン市民への安全な水の供給量の増大に寄与することを目的とする「チッタゴン上下水道公社組織改善・無収水削減推進プロジェクト」（以下、本プロジェクト）の実施に係る支援を要請した。JICA は 2013 年 6 月に詳細計画策定調査を実施し、同年 11 月に協議議事録に署名、2014 年 3 月から 2018 年 3 月まで 4 年間の予定でプロジェクトを開始した。JICA はこれまで組織経営、配水管網整備、GIS データベース等の専門家を派遣し、CWASA の運営・組織能力強化を行っている。本プロジェクト開始から約 2 年が過ぎたところ、プロジェクトの進捗状況及び成果を確認するとともに、今後の課題を関係者と共有することを目的として中間レビュー調査を行うこととなった。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。なお、JICA 事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### (1) 国内準備期間（2015 年 12 月下旬～2016 年 1 月上旬）

- ① 既存の文献、報告書等（詳細計画策定調査報告書、専門家報告書、業務完了報告書、調整委員会議事録、活動実績資料、円借款進捗資料、プロジェクト対象地域で貧困地域給水支援を行う青年海外協力隊活動報告等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセスを整理、分析する。
- ② 既存の PDM に基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価 5 項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド（案）（和文・英文）を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- ③ 評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P 機関、その他バングラデシュ側関係機関等）に対する質問票（英文）を作成する。

④対処方針会議等に参加する（TV会議をバングラデシュ事務所と JICA 本部で接続）。

(2) 現地派遣期間（2016年1月上旬～1月下旬）

- ① JICA バングラデシュ事務所等との打合せに参加する。
- ② プロジェクト関係者に対して、本中間レビューの手法について説明を行う。
- ③ バングラデシュ側 C/P（CWASA）と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- ④ 収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- ⑤ 国内準備並びに上記③及び④で得られた結果をもとに、他の調査団員及びバングラデシュ側 C/P 等とともに評価5項目の観点から中間レビューを行い、中間レビュー報告書（案）（英文）の取りまとめを行う。
- ⑥ 調査結果や他団員及びバングラデシュ側 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び P0 の修正案（和文・英文）の取りまとめに協力する。
- ⑦ 中間レビュー報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
- ⑧ 協議議事録（M/M）（英文）の作成に協力する。
- ⑨ 現地調査結果の JICA バングラデシュ事務所等への報告に参加する。

(3) 帰国後整理期間（2016年2月上旬～中旬）

- ① 評価調査結果要約表（案）（和文）を作成する。
- ② 帰国報告会に出席する。
- ③ 中間レビュー調査報告書（和文）について、担当分野のドラフトを作成する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（1）～（3）のすべてとする。

- (1) 中間レビュー報告書（英文）
- (2) 担当分野に係る中間レビュー調査報告書（案）（和文）
- (3) 評価調査結果要約表（案）（和文）

上記（1）～（3）については、電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積を計上して下さい）。バングラデシュ国内の航空券はJICAバングラデシュ事務所で手配するため、見積計上不要です。

## 10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境

- ① 現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2016年1月9日～2016年1月22日を予定しています。

本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しています。

- ② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

ア) 総括/水道管理（JICA）

- イ) 協力企画 (JICA)
  - ウ) 評価調整 (JICA)
  - エ) 評価分析 (コンサルタント)
- また、本業務に係る現地プロジェクトチームは、チーフアドバイザーの他、組織運営、無収水対策、財務・会計制度、GISデータベース等の専門家が派遣されています。

### ③ 便宜供与内容

JICAバングラデシュ事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎  
あり
- イ) 宿舎手配  
あり
- ウ) 車両借上げ  
全行程に対する車両の提供 (機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。)
- エ) 通訳備上  
なし
- オ) 現地日程のアレンジ  
現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ及び長期専門家及びC/Pの同行
- カ) 執務スペースの提供  
プロジェクトオフィスまたはJICAバングラデシュ事務所内の執務スペース提供

## (2) 参考資料

- ① 本業務に関する以下の資料を当機構バングラデシュ事務所 (Email: Mitomori.Kohji@jica.go.jp) より電子版にて送付します。
  - ・ 詳細計画策定調査報告書
  - ・ 専門家報告書等
  - ・ PDM、PO (最新版)
- ② 本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトの (<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。
  - バングラデシュ国 チッタゴン上下水道公社無収水削減推進プロジェクト事前調査報告書  
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000247065.html>
  - バングラデシュ国 チッタゴン上下水道公社無収水削減推進プロジェクト終了時評価調査報告書  
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000005157.html>
  - バングラデシュ国 チッタゴン上下水道公社無収水削減推進プロジェクト中間レビュー調査報告書  
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000005018.html>
  - バングラデシュ国 チッタゴン上水道改善事業準備調査最終報告書  
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000008906.html>

## (3) その他

- ① 上・下水道管理分野での業務経験があることが望ましいです。
- ② 業務実施契約 (単独型) については、単独 (1名) の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ③ バングラデシュ国内での作業においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICAバングラデシュ事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。
- ④ 本業務の実施にあたっては、「JICA不正腐敗防止ガイダンス (2014年10月)」の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口

またはJICA担当者に速やかに相談してください。

以上